



◆◆◆ 国際通貨研究所メールマガジン（第 34 号 2015/1/13 発行）

◆◆ <<http://www.iima.or.jp/>>



◇1. 理事長 行天豊雄 コラム◇

2015 年は円安ストップ

<<http://www.iima.or.jp/Docs/merumaga/2015/20150113gyoten.pdf>>

2015 年の国際金融情勢はどうも昨年同様落ち着きのないものになりそうだ。そもそも主要国経済は歴史的な低金利、低インフレ状態だし、超緩和政策下で創り出された流動…

◇2. 古澤満宏 コラム◇

国際金融秩序と米・中

<<http://www.iima.or.jp/Docs/merumaga/2015/20150113furusawa.pdf>>

国際政治の世界では、各国がその影響力を維持・拡大するため鎬を削っている。金融の分野も例外ではない。現在、国際金融機関を巡って 2 つの動きがある。まずは IMF…

■ IIMA Global Market Volatility Index・購買力平価グラフの更新 ■

<<http://www.iima.or.jp/research/ppp/index.html>>

≪掲載内容≫

- IIMA Global Market Volatility Index  
(グローバルな金融・資本市場のリスク度を表す指数)
- 購買力平価グラフ  
(ドル円) (ユーロドル) (ユーロ円)

■ 今月の新着レポート ■

1. 「EU 新執行部の発足とその課題～財政規律と経済復活策を巡って～」 小林 敏雄

<[http://www.iima.or.jp/Docs/report/2015/no1\\_2015\\_j.pdf](http://www.iima.or.jp/Docs/report/2015/no1_2015_j.pdf)>

EU の状況については、欧州議会選挙、新 EU 委員会の発足などの出来事があった昨年に引き続き、2015 年も、欧州経済の低迷や反ユーロ勢力の伸長などに如何に対応するか、目の離せない状況にある。これらのうち、特に、

経済問題に注目してまとめたレポートである。

## ■ 今月の IIMA

2015 年の世界経済では、米国の金融政策の変更が見込まれるなか、景気回復がはかばかしくない日欧経済の行方、中国をはじめとしたアジア新興国の成長が維持されるのか、国際資金フローの変化が対外債務国の危機につながるリスクはないのか、大幅下落した原油価格の行方とその影響等々、IIMA にとり興味深いテーマは尽きません。

今年も IIMA も 20 周年を迎えます。新年を迎えた IIMA では、外部から受託している各種調査が最終段階に入っています。大学講義も、最終講義、試験などにむけて追い込み段階です。恒例の国際金融シンポジウムの準備も進めています。今年も海外から著名なパネリストをお迎えし、3 月 4 日に「グローバル経済：米国金融政策の正常化への備えは十分か？」というテーマで開催予定です。どうぞご期待下さい。

今年も IIMA をどうぞよろしく申し上げます。

---

### 【バックナンバー】

<http://www.iima.or.jp/maimagazine.html>

### 【次号】

2015 年 2 月 10 日配信予定

### 【メールマガジンの配信停止・配信先変更】

<https://m.entryform.jp/m/iima/>

### 【各種お問い合わせ】

[admin@iima.or.jp](mailto:admin@iima.or.jp)

※閲覧には Adobe Reader が必要です。

Adobe Reader のダウンロードはこちらから

→<http://get.adobe.com/jp/reader/>

本メールは配信専用のアドレスからお送りしております。

返信をいただいても当方では受け取ることができません。

---

### ◇発行◇

公益財団法人 国際通貨研究所

〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町 1-3-2 三菱東京 UFJ 銀行日本橋別館 12 階

[HP] <http://www.iima.or.jp>

Copyright (C) IIMA All Rights Reserved.